

A・B = n 型の整数問題 (Ⅲ)

演習問題 63
難易度 ★★★
CHECK 1
CHECK 2
CHECK 3

x, y を自然数, p を 3 以上の素数とすると、次の各問いに答えよ。

- (1) $x^2 - y^2 = p$ が成り立つとき, x, y を p で表せ。
- (2) $x^3 - y^3 = p$ が成り立つとき, p を 6 で割った余りが 1 となることを証明せよ。
- (3) $x^3 - y^3 = p$ が自然数の解の組 (x, y) をもつような p を, 小さい数から順に p_1, p_2, p_3, \dots とするとき, p_5 の値を求めよ。 (早稲田大)

ヒント! (1)は, $A \cdot B = p$ (素数)の形にして解けばいいね。(2)も, $A \cdot B = p$ (素数)の形から $x = y + 1$ が導けるので, これから, p を y の式で表せば話が見えてくるはずだ。(3)は, (2)が導入となっているので, (2)の結果を使って解けばいいんだね。頑張ろう!

解答&解説

(1) $x^2 - y^2 = p \dots\dots ①$ とおく。

(x, y : 自然数, p : 3 以上の素数)

①を変形して,

$$\underbrace{(x+y)}_{\oplus} \underbrace{(x-y)}_{\oplus} = \underbrace{p}_{\oplus} \dots\dots ①' \quad \leftarrow \begin{array}{l} A \cdot B = p \text{ (素数)} \\ \text{型ができた!} \end{array}$$

ここで, x, y は自然数, p は 3 以上の素数なので $x+y > 0, p > 0$ となる。よって, $x-y > 0$

さらに, $0 < x-y < x+y$ が成り立つので, ①' より $x-y = 1 \dots\dots ②$ かつ, $x+y = p \dots\dots ③$ となる。

$$\frac{③+②}{2} \text{ より } x = \frac{p+1}{2} \dots\dots \text{(答)}$$

$$\frac{③-②}{2} \text{ より } y = \frac{p-1}{2} \dots\dots \text{(答)}$$

(2) $x^3 - y^3 = p \dots\dots ④$ とおく。

(x, y : 自然数, p : 3 以上の素数)

④を変形して,

$$\underbrace{(x-y)}_{\oplus} \underbrace{(x^2+xy+y^2)}_{\oplus} = \underbrace{p}_{\oplus} \dots\dots ④' \quad \leftarrow \begin{array}{l} A \cdot B = p \text{ (素数)} \\ \text{型ができた!} \end{array}$$

\oplus (3 以上の数) \oplus

ココがポイント

⇐素数は, 2, 3, 5, 7, 11, 13...より, 2 以外の 3 以上の素数はすべて奇数になる。

⇐今回, $x-y$ と $x+y$ が負の場合は考えなくていいので, この 1 組だけだね。

⇐ p は素数より, x, y 共に自然数となって, 条件をみたす。

⇐因数分解公式

$$a^3 - b^3 = (a-b)(a^2 + ab + b^2)$$

⇐ $x^2 + xy + y^2 \geq 1^2 + 1 \cdot 1 + 1^2 = 3$